

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プロロジスパーク門真プロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府門真市東田町856番1、860番	構造	RC造
用途地域	準防火地域、準工業用途地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年9月12日
敷地面積	8,301 m ²	作成者	福井 博晃
建築面積	4,681 m ²	確認日	2017年9月19日
延床面積	16,658 m ²	確認者	中島 功義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大阪府門真市に計画される倉庫である。LED照明を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮した建物である。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>事務室の内装は吸音性の高い仕上げを採用し、倉庫との界壁遮音性能もDr50と能力の高い計画を行っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を高めに設定しており、最も低い階でも6.0mとしている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地周囲に死角を作る壁等の設置はなく、オープンな外構計画とすることで防犯性に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を使用するなど、高効率な設備機器を採用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>全給水器具の過半に節水器具を使用しており、節水コマなどに加えて節水型便器を用いている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>十分な隣棟間隔、燃焼設備機器を設けないことで温熱環境悪化の改善に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0085

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	プロロジスパーク門真プロジェクト					
		建設地	大阪府門真市東田町856番1、860番5					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.4	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								